

資料 4

北海道自立支援協議会「地域移行部会」について

1 設置経緯

平成26年度に障害者総合支援法に基づく都道府県障害者福祉計画である「第4期北海道障がい福祉計画（計画期間：H27～H29年度）」策定のため、北海道障がい者施策審議会に「地域生活移行・精神退院促進部会」を設置し、施設入所者や長期入院者の地域移行（退院促進）等に関する計画部分について検討が行われたが、策定後の地域移行に関する目標達成に向けた推進施策の進捗管理や支援体制の整備方策等についての検討会議がなかったことから、北海道自立支援協議会に「地域移行部会」が設置された。

※部会員

氏名（敬称略）	所属等
池田 輝明	北海道精神科病院協会会長
大久保 薫	さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール センター長
門谷 充郎 [部会長]	NPO法人十勝障がい者支援センター理事長
小林 繁市	胆振圏域障がい者総合支援センターるびなす
福井 智恵	札幌市保健福祉局障がい者保健福祉部障がい福祉課発達障がい担当係長
山崎千恵美	社会福祉法人NIKORI統括施設長
吉本 政秀	北海道精神障害者社会福祉事業協議会事務局長

2 平成28年度開催状況

[第1回]

日時	平成28年7月25日（月） 18:00～19:45
場所	保健福祉部第1号会議室（道本庁舎6階）
内容	（精神保健グループ担当分）
	ア 精神障がい者医療と福祉の連携研修会について →詳細は、別添1のとおり。
	イ 精神科病院入院患者の地域移行に向けた状況調査について →詳細は、別添2のとおり。

3 今後について

第2回の北海道自立支援協議会「地域移行部会」については、平成29年2～3月に開催予定。



精神障がい者医療と福祉の連携研修会について

1 平成27年度の取り組み状況

精神障がい者の地域移行に関する取り組みをより一層推進するため、医療と福祉の連携による支援体制づくりを目指し、全道及び各圏域における地域移行等関係者の連携強化や情報共有等を行い、地域において地域移行を推進する人材の養成を図ることを目的に、研修会を平成28年1月21日、22日に札幌市内（道庁別館 地下大会議室）で開催し、行政や病院関係者をはじめ、精神障がい者地域生活支援センター職員、ピアサポーターなど124名の方の出席がありました。

2 平成28年度の取り組み状況

道では、以前から、公益財団法人北海道精神保健推進協会（札幌市）に、精神障がい者の地域移行研修事業を委託しており、平成28年度も引き続き実施しております。

実施にあたっては、実施要綱を策定しておりますが、平成28年度は地域移行研修事業として実施する「地域移行エリア別研修」について、各圏域における精神障がい者の地域移行・地域定着支援を進める上で、中核的役割を担う人材養成を主な目的とした研修内容と改正をしております。

*「地域移行エリア別研修」は、1月に開催した「精神障がい者医療と福祉の連携研修会」のフォローアップとしての役割を担う形。

※ 実施要綱は、別添のとおり。

3 平成28年度の開催状況

「地域移行エリア別研修会」については、道内4カ所（旭川市、帯広市、札幌市、室蘭市）で開催を行っております。

（地域移行エリア別研修開催状況）

開催地域	開催時期（会場）	対象圏域
旭川市	平成28年10月20日、21日 （旭川市障害者福祉センターおびつた）	宗谷、上川北部、上川中部、遠紋、留萌、北空知
帯広市	平成28年11月10日、11日 （市民活動プラザ六中）	釧路、根室、十勝、富良野、北網
札幌市	平成28年12月8日、9日 （かでる2.7）	札幌、南空知、中空知、後志
室蘭市	平成29年1月26日、27日 （室蘭市中小企業センター）	南渡島、北渡島檜山、南檜山、西胆振、東胆振、日高

- ・行政（保健所、市町村）、病院（精神保健福祉士、看護師）、相談支援事業所、地域生活支援センター職員（管理者、ピアサポーター）等が出席。
- ・旭川市会場では、42名の出席。帯広市会場では、26名の出席。
- ・演習を中心とした研修形態。



平成28年度精神障がい者地域生活支援事業（地域移行研修事業）実施要綱

1 事業の目的

地域住民や医療・福祉・行政等の関係者に対し精神障がい者の地域移行・地域定着の必要性・重要性の理解を促進するとともに、ピアサポーターの養成・支援を行うことにより、精神障がい者のさらなる地域移行の推進を図る。

2 事業の内容

精神障がい者の地域生活への移行を促進するため、次の研修を実施する。

(1) 地域移行研修会

各圏域における精神障がい者の地域移行・地域定着支援を円滑に進めるため、事業の意義、精神障がい者への理解や地域における支援ネットワークを強化するため開催する。

- ① 開催回数 21回（1カ所概ね2日間）
- ② 開催場所 道内21カ所（第2次障害保健福祉圏域を基本とする。）
- ③ 参加対象者 地域住民、当事者、家族、ピアサポーター、市町村職員、医療従事者（退院後生活環境相談員含む）、精神障がい者地域生活支援センター職員、相談支援事業者、関係機関職員等
- ④ 参加人員 50名程度
- ⑤ 参加料 無料
- ⑥ 研修内容（各地域の実情、要望により調整する。）
 - ・精神疾患や精神障がい者に対する理解の促進
 - ・精神科病院における退院後生活環境相談員研修について
 - ・精神保健医療福祉を取り巻く社会情勢の変化について
 - ・地域移行・地域定着の重要性の理解
 - ・地域における退院促進・地域定着の課題検討等

(2) 地域移行エリア別研修会

事業の実施状況やピアサポーターの活動状況など各圏域間での情報交換や課題整理を行い、各圏域における精神障がい者の地域移行・地域定着支援を進める上で中核的役割を担う人材を養成するため複数の圏域を対象として開催する。

- ① 開催回数 4回（1カ所概ね2日間）
- ② 開催場所 道内4カ所
- ③ 参加対象者 当事者、ピアサポーター、市町村職員、医療従事者（退院後生活環境相談員含む）、精神障がい者地域生活支援センター職員、相談支援事業者、関係機関職員等
- ④ 参加人員 50名程度
- ⑤ 参加料 無料
- ⑥ 研修内容
 - ・精神保健医療福祉を取り巻く情勢について
 - ・地域移行の現状と取り組み
 - ・地域移行等に携わる医療と福祉等の従事者間による連携強化
 - ・ピアサポーター同士の情報交換
 - ・地域における退院促進・地域定着の課題検討等

(3) ピアサポーター研修会

ピアサポーターに必要なカウンセリングの基本的な技術・知識及び対象者理解やセルフケアなどを学び地域におけるピアサポーターの養成や活動への支援を行うため開催する。

- ① 開催回数 1回(3日間)
- ② 開催場所 札幌市内
- ③ 参加対象者 ピアサポーター及び精神障がい者地域生活支援センター職員
- ④ 参加人員 80名程度
- ⑤ 参加料 無料
- ⑥ 研修内容
 - ・活動の情報交換と課題整理
 - ・ピアサポーターに必要な技術や知識について

3 留意事項

- (1) 地域移行研修会の開催に当たっては、開催場所の選考や研修内容等について、地域の保健所や精神障がい者地域生活支援センター等と十分協議の上決定すること。
- (2) ピアサポーター研修会の受講者に対しては、自己研鑽に努め、地域の研修などにおいて研修内容を広め、実践するよう助言すること。

精神科病院入院患者の地域移行に向けた状況調査について

1 内容

精神科病院に入院する精神障がい者の状況を把握し、今後の地域移行推進にあたっての基礎資料とするため、道独自調査として実施する。

2 地域移行部会への説明内容(H28. 7. 25)

調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 道内精神科病院に入院している入院患者。 *入院患者名は、特定しない形〔匿名〕で対応
調査項目	性別、年齢、疾患、入院形態、出身市町村名（住民票所在地）、在院期間
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省の「630 調査（精神保健福祉資料）」に併せて実施。 *調査時点は、毎年6月30日現在。 *調査実施は、9月頃を予定。（取りまとめは10月以降）
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 地域移行の推進に関する課題や解決手法等を検討する際の基礎資料として活用するとともに、市町村等への情報提供を予定。 次回開催の地域移行部会にも提出予定。



・地域移行部会より、調査の実施については了解を得たが、実施にあたり意見あり。

・札幌市でも、類似の調査が予定されていることから、調査内容等について札幌市と調整を図ること。

3 主な変更点等

・札幌市が次期障がい者福祉計画に反映させるために実施する調査に内容を合わせることで調整を図り、次のとおり変更等を実施。

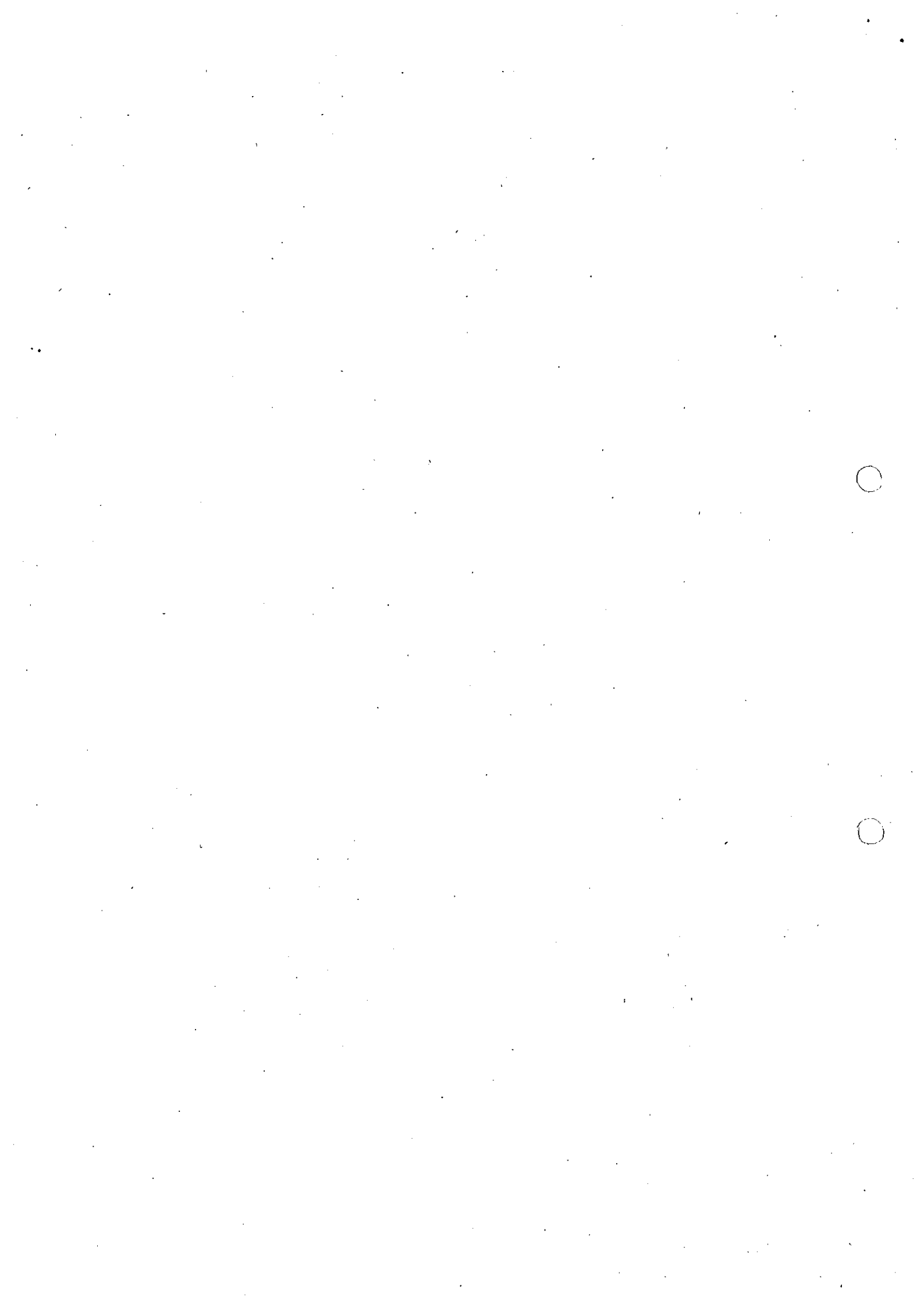
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象は、平成28年度に限り、札幌市内の精神科病院については、札幌市が実施する調査で対応。札幌市外の精神科病院を道調査で対応。
調査時期	<ul style="list-style-type: none"> 調査時点は、平成28年度に限り、平成28年10月1日現在とする。 調査実施は、平成29年1月予定（取りまとめは2月予定）
その他	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象の入院患者は、在院期間1年以上の者とする。 札幌市が行う調査は、障がい者福祉計画に対応するため実施するものであることから、次年度以降実施予定はないので、札幌市内の精神科病院を含め道調査で対応する。

4 調査票

別添のとおり

5 今後について

今後、札幌市と最終調整を行い、問題なければ調査を実施する。



精神科病院入院患者の地域移行に向けた状況調査調査票(案)

調査時点:平成28年10月1日現在

基本情報

病院名		
所在市町村名		
記載者名		
連絡先	TEL	FAX
	E-Mail	

1 貴病院の精神科病床数について、教えてください。

全病床数	
うち開放病棟分	
うち閉鎖病棟分	

2 病院での入院患者(在院期間1年以上)の状況について、教えてください。

全入院患者数	
うち在院期間1年以上	

(在院期間1年以上の状況)

名前は匿名対応とします

No.	性別	年齢	疾患	入院形態	出身市町村名 (住民票所在地)	在院期間	備考
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

※ 不足する場合は、適宜行を追加し、対応してください。

注1:上記調査票に記載の際は、別紙記載上の注意事項を参照していただき、作成をしてください。

(記載上の注意事項)

性別	男性又は女性で記載してください。
年齢	調査時点での満年齢で記載してください。
疾患	次の中から、該当するものを記載してください。 1 アルツハイマー病型認知症 2 血管性認知症 3 アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を 含む器質性精神障害 4 アルコール使用による精神及び行動の障害 5 覚醒剤による精神及び行動の障害 6 アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の 障害 7 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 8 気分(感情)障害 9 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 10 生理的障害及び身体的要因に関連した症候群 11 成人の人格及び行動の障害 12 精神遅滞 13 心理的発達の障害 14 小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び 特定不能の精神障害 15 てんかん 16 その他
入院形態	次の中から、該当するものを記載してください。 ア 任意入院 イ 措置入院 ウ 医療保護入院 ウー1 医療保護入院(家族等のうちいずれかの者の同意) ウー2 医療保護入院(市町村長同意) エ 応急入院 オ その他の入院
出身市町村名 (住民票所在地)	入院患者の出身市町村名(住民票所在地)を記載してください。
在院期間	調査時点での在院期間日数について、次の中から、該当するものを 記載してください。 ① 1年～1年6か月未満 ② 1年6か月～2年未満 ③ 2年～3年未満 ④ 3年～5年未満 ⑤ 5年～10年未満 ⑥ 10年～20年未満 ⑦ 20年以上